

としょかんだより 1月号

令和8年1月
飯山満小学校
図書館

あけましておめでとうございます

新しい一年が始まりました。冬休み中は、たくさん本を読むことができましたか？今年も図書館で、素敵な本と出会ってくださいね。



2026

<1月のめあて>

いろいろなジャンルの本に挑戦しよう

新しい本が届きました

図書館に新しく入った本の一部を紹介します。読みたい本があったら、早めに予約をしてください。

からだたんけんれっしゃ	濱田真理／文 大橋慶子／絵 清水俊明／監修	交通新聞社
一年一組せんせいあのね 2	鹿島和夫／著 ヨシタケシンスケ／画	理論社
パンどろぼうとスイーツおうじ	柴田ケイコ／作	KADOKAWA
とろとろおばけ	たなかひかる／著	文響社
超ビジュアル！ 世界の歴史人物大事典	仲林義浩／監修	西東社
あした話したくなる おもしろすぎる漢字の世界	青木伸生／監修 朝日新聞出版／編著	朝日新聞出版
街どろぼう	junaida／著	福音館書店
とろとろおばけ	たなかひかる	文響社
霧島くんは普通じゃない 13巻	麻井深雪／作 ミユキルリア／絵	集英社

一月の特集展示の紹介

特集1『馬が出てくることわざ・慣用句』

日本人が古くから使っていることわざや慣用句の中には、馬がたくさん登場します。「馬の耳に念仏」「塞翁が馬」「馬が合う」などがありますが、どんな意味か知っていますか？ 気になった人は、ぜひ図書館の展示コーナーを見に来てください。またことわざや慣用句、四字熟語、故事成語の本などもあわせて展示しています。



特集2『馬が出てくる絵本・物語の本』

図書館には馬が出てくる絵本や物語の本もたくさんあります。特集コーナーに展示しているので、ぜひ読んでみてください。ここではその中の一部を紹介します。



「スーホの白い馬」

大塚雄三／再話 赤羽末吉／絵
昔、モンゴルの草原にスーホという少年がいました。ある日、道ばたにたおれていた生まれたばかりの白い子馬を見つけ、大事に育てましたが……。



「うまかたやまんば」

おざわとしお／作 赤羽末吉／絵
ある日、馬方はたくさんの魚を仕入れ、馬に乗せて歩いていました。峠道にさしかかると、やまんばに「魚をおいていけ」と言われ、追いかけられます。



「ルシールはうま」

アーノルド・ローベル／作
ルシールはおひやくしょうさんの家の馬。すきを引っぱり畑で働くことにあきあきしたある日、帽子や服を買って美しく着かざってみました。



「バレエをおどりたかった馬」

H・ストルテンベルグ／作
田舎で何不自由なく暮らしていた馬が、ある日突然、バレエの美しさにとりつかれ、町のバレエ学校へ入学します。

本は正しい場所に戻しましょう

本を棚に戻すとき、分類記号を確認せずに、適当な棚に入れてしまっていないですか？ 迷子になった本はなかなか見つけることができず、次に借りたい人が困ってしまいます。本の背に貼ってある分類記号をよく見て、決められた場所にきちんと戻しましょう。戻す場所がわからないときは、図書先生に声をかけてくださいね。

